

校長室だより



令和8年9月16日

第3号

白井市立白井第一小学校
校長室

=「いっこ」の合言葉

「い」っしょうけんめい 「ち」ーむで取り組み 「こ」ころと体を強くする=

夏休みが明け、子どもたちが学校にもどってきて、2週間が経ちました。学校に戻ってきた子どもたちの表情がとてもよく、子どもたちなりにいい夏休みを過ごすことができたのではないかと感じました。

また、夏休み明けも、落ち着いて過ごし、学習をしています。夏休み明け、いいスタートがきれたと思っています。



ケアのある協働的な学びがめざすもの



校長室だより第2号では、今、白井第一小（白井市全小学校）が考えている学力向上・授業改善の方向性について話をさせていただきました。今回は、「ケアのある協働的な学び」についてです。

授業では・・・



学びから逃げない子供を作る

○分からないときに聞ける人間関係をつくる

○逃げなくてよかったと思えるように

○子供同士の対話が増える

○自己肯定感の上昇

○相手に自分の思いを伝えられるようになる
○相手の気持ちを理解できる

学力向上

人間関係の良好化



「ケアのある協働的な学び」

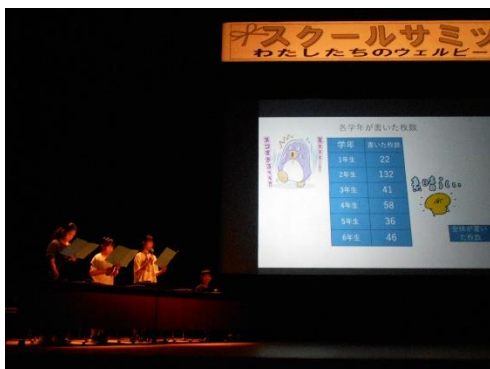
分からない時に分からないと言え、友だちに聞ける人間関係を築くことができるようになれば、「自分にだってできる」と自己肯定感も高まり、学習へのやる気が高まります。また、自分の思いを伝えられるようになるとともに、相手の気持ちを考えることのできる子どもが育ちます。そうなることで、お互いの違いや良さを認め合い、人間関係が良好になっていくと考えています。

一小的きらり

8月20日（木）に白井文化会館の大ホールで、白井市内の小中学校が参加したスクールサミットが行われました。本校からは、6年生の2つのグループが代表として参加しました。テーマは「ぼくたち・わたしたちのウェル・ビーイング ～2つのK 「環境」と「感謝」～」です。

当日は、大きなホールで、市長さんや教育長さん、午前の部の発表者や先生方、そして保護者のみなさんがいる前で発表しました。

みんながしあわせになるために、自分たちがどう変わっていくべきか、そして自分一人ではなく、どう周りに働きかけていくか、しっかりまとめて発表してくれました。6年生の成長した姿を見ることができて、とてもうれしかったです。



9月は、4月から学んできたことを振り返り、まとめる時期になります。学びをしっかり振り返り、その上で、また後期に向けて、新たな目標をもってほしいと思います。

困ったとき、つらいときには、SOSを！

最近、『SOSの出し方』と『受け止め方』が、重要視されています。

9月1日（火）の全校朝会では「学校が始まって、学校のことやお家のこと、友達のことなどで、もやもやしていたり、困ったり、悩んでいることがあったら、周りの友達や先生に話をしてくださいね」と子どもたちに話しました。うまく伝えられなくてもいいし、どんな形でもいいですから、SOSを出してほしいと思います。

また、身近にいる大人も、それに気づいてキャッチしなければいけないと思っています。そのためには、子どもを普段からよく見て、変化に気づくことだと思います。

私たち教職員も、日頃から子どもたちをよく見て、少しの変化も共有していきたいと思っています。